

とができるの
しっかりと
い分、地域の
いきたい」と
この祭に携わ
くと聞こえて
。毎年、この
ある「浦南」ほ
が貸し出して

特集 パン



つくば春のパンまつり

◆ カレーパン

「揚げ物は一樣に売れる」という店員さんの言葉からも一位・二位と揚げパンが人気。「早めに来ないと売り切れです」とのこと。体芸棟にある同店では、学内の各飯野パンでNo.1の売れ行きだそうです。



◆ 餡ドーナツ

以前は和菓子屋さんだった飯野パン。餡は甘さ控えめなため、揚げパンではあるもののしつこくない。看板にも「さっぱり」と謳われるほど。「アンドー下さい」といえば、おばちゃんの前もほころぶこと間違いなし。

◇おススメ ブルーベリー・ベークル
ブルーベリーが練り込んであるモチモチベークル。飯野パンの商品の中では少し高めのお値段だが、そのモチモチ感を味わうには決して高くはない。ホントにモチモチおいしい。



スパイシー高菜



名店街

第三学群



人気商品
安くて
大きくて
おいしい



パンとクリーム

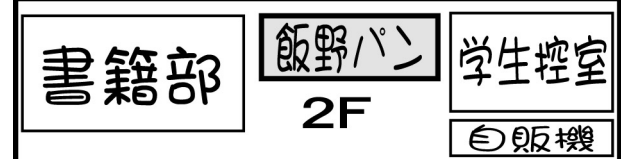
学内パン屋 群雄割拠時代

戦わなければ生き残れない

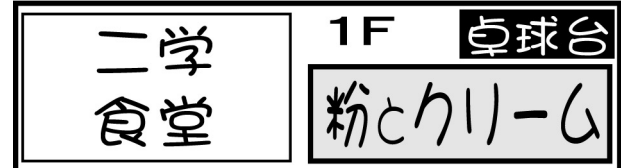
飯野パン

鈴屋

並木・竹園高校にも ←元 和菓子屋→ 土浦一高・二高・三高にも卸しています。



第二学群



◆ 玄米パン

玄米の粒々が入ったパンですよ。サンドウィッチにしては激安。しかもカツ！ カツが「おふくろの味」で学生には大人気。玄米は体にいいから加えて人気。安いからもう一つ上乗せで人気。



◆ ミックスパン

パン作るときに余ったのはじこをMIXして焼いたパン。だから安いし、一度に色々な味が楽しめる。レーズン・ごま・クルミ・チョコチップなど色んなものが、ぶっこまれている。



第一学群



ピザ

◆ カットピザ

その焼きたての香りに誘われつつ、手が伸びてしまう人気商品。紙製のトレーに乗せて、噴水前の芝生で食べれば、あなたも国際生みたい。

「しつこいの好きでしょ。」

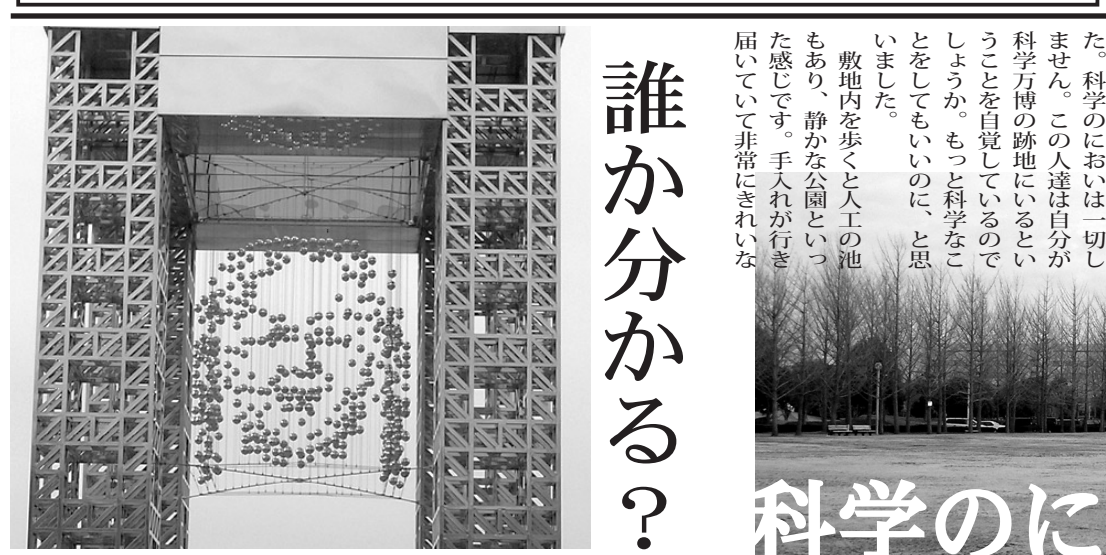
「十人の学生を二人で分けるのと五人で分けるのとでは天と地の差ができる」

つくば市「パン」で町おこし
つくば市は「パン」で町おこしを計画している。外国人が多く住むことから「本場の味」を再現していかなければ生き残れないので、必然的にパンの味の向上が求められているらしい。小麦から酵母まで、品質や天然にこだわったパン屋も多くみられる(西武など)。ちなみに、筑波大学内のパン屋は全て土浦のお店。



お詫言
今回「パン特集」を組ませて頂くにあたり取材先である各パン業者様に大変お世話になりました。しかし、いざ紙面にパンを掲載する段階になりまして「白黒写真ではおもしろくない」という難題にぶつかりました。弊紙の財政ではとてもカラー印刷には出来ません。あらためて「食」の視覚効果というものを実感するとともに皆様には想像力および食欲をたくましくして御覧頂ければ私も幸いです。

今月のポストモダン第2回「憩いの広場」



誰か分かる？



科学のにおいは一切しません

居酒屋 **じんぱち**
Tel (029)852-7559

少しくも未来っぽいものを探して歩いてみると、銀色に光る門のようなオブジェをみつけた。なんでも「科学の門」というのは、見る角度によって、これまで科学の歴史において重要な役割を果たした偉人の顔が浮かび上がるそうなんです。ちょっとだけ未来です。しかし、浮かび上がるのがニールソン・ガリレイ、エジソン・アルキメデス、というのには科学というにはちょっと違う気がします。その上、浮かび上がる顔も判別できないものでもの三十分で公園を回ってしまいましたが、未来の要素は皆無です。万博の要素も皆無です。つくば万博の跡地は現在、愛地球博を思い起こさせる緑豊かな公園となっており、正直行かなきゃよかったです。

がんばれ中小企業！
筑波大学学生新聞会一同

つくば博、今、『愛・地球博』

愛地球博(愛知万博)が始まりました。大変な盛り上がりを見せています。ところで皆さん、ちょうど二十年前、一九八五年につくばでも万博が開かれたことをご存知でしょうか。つくばは科学博と呼ばれたこの万博は、新ロケットやハイテク科学を紹介する科学の万博でした。さて、そんなつくば万博の開催地は今、どうなっているのでしょうか？愛知万博に行く前に、ちょっと見てみたいと思います。(小高)

皆さんお忘れかもしれませんが、実はもう二世紀です。チューブの中を電車が行き、ビルが空を飛ぶ自動車が走り回ります。科学万博で披露されたのはそんな未来風景だったと想像して、私は万博記念公園を目指しました。この公園はつくば万博の跡地に作られた公園なので、当然未来の風景が残っているはずなんです。しかし、脆くも期待は裏切られました。公園はただひたすらに少し枯れた芝生と、見るどきの樹木が集まっているのが行われていて、人と人が走り回っている。科学万博の跡地なのだから、当然ロボット犬AIBOを連れまわっているかと思ったら、何の変哲もないダックソフトでした。科学のにおいは一切しません。この人達は自分が科学万博の跡地にいるというのを自覚しているのでしょうか。もっと科学なことをしてもいいのに、と思います。

敷地内を歩くと人工の池もあり、静かな公園といった感じがします。手入れが行き届いていて非常にきれいな公園なのですが、未来と聞くと、公園のイメージは、未来の要素は皆無です。万博の要素も皆無です。つくば万博の跡地は現在、愛地球博を思い起こさせる緑豊かな公園となっており、正直行かなきゃよかったです。